

# コンテナによる貨物輸送の**定時性・速達性の向上** — コンテナ取扱数量が過去最高を記録 —

## 茨城港常陸那珂港区 国際海上コンテナターミナル



ガントリークレーンによる船積み



リーテスタッカーによるコンテナの移動



- 私たちの生活や企業の経済活動において、安定的かつ効率的な物流が必要不可欠であり、コンテナによる貨物の輸送が注目を集めています。
- 特に、海上コンテナによる貨物の輸送は、空輸と比べて時間はかかりますが、一度に多くの品物を安く運ぶことができます。  
(なお、輸出入貨物の9割以上が船によるものです。)
- コンテナの中身は紙や住宅用建材、電化製品等で、人々の生活や産業を支えるために欠かせない品物を運んでいます。
- 常陸那珂港区は北関東自動車道と直結し、また、効率的にコンテナを捌けるコンテナターミナルを有していることから、輸送時間の短縮や物流コストの削減が可能です。
- 常陸那珂港区におけるコンテナの取扱量は年々増加しており、物流が活性化することによって、雇用や税収の拡大など地元経済に大きな効果をもたらします。



【定期コンテナ航路数：4本】  
 ・韓国・中国定期コンテナ航路(H12.8開設)  
 ・北米定期コンテナ航路(H16.2開設)  
 ・国際フェリー航路(H20.2開設)  
 ・中国・ベトナム定期コンテナ航路(H24.10開設, H27.3改編)

【コンテナ取扱数量】  
 ・平成25年  
 30,658 TEU (確定値)  
 ・平成26年  
 約35,000 TEU (見込み)

